

第5編 国土強靱化地域計画

第5編 国土強靱化地域計画 用語解説

ページ	用語	解説
111	国土強靱化基本法	正式名称は「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」(平成25年法律第95号)。国民の生命と財産を守るため、事前防災・減災の考え方に基づき、強くしなやかな国をつくる「国土強靱化」の総合的・計画的な実施を目的とする法律である。
113,116,117	帰宅困難者	地震などの影響で公共交通機関が停止し、自宅へ帰ることが困難になった人々のことをいう。
113,120	サプライチェーン	原料調達、製造、物流、販売、廃棄などの一連の流れやその全体のことをいう。
113,114,115,116,117,121	ネットワーク	「網(net)」という意味の英単語を語源とし、人間関係の広がりや、組織や集団、拠点などの間の繋がりと体系、交通機関や道路等の地理的な構造などを総称したものである。
113,122,123	風評被害	根拠のない噂のために受ける被害。特に、事件や事故が発生した際、不適切な報道がなされたために、本来は無関係であるはずの人々や団体までもが受ける損害のことをいう。
114,115,116,117,119,123,124,125	自主防災組織	災害による被害を予防・軽減するための活動を行う、地域住民主体の任意団体のことをいう。
114,115,124,125	避難行動要支援者	災害発生時の避難等において、特に支援を要する方のことをいう。
114,115,124	要配慮者	高齢者、障害者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する方のことをいう。
115,117,118,121,123,125	応援協定	災害発生時における各種応急復旧活動に関する人的・物的支援について、地方公共団体と民間事業者や関係機関との間、または地方公共団体間で締結される協定のことをいう。
115,117,120,121,125	事業継続計画(BCP)	「事業継続計画」と訳される。災害などの緊急事態が発生したときに、企業が損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画のことをいう。
115,117	バックアップ	コンピュータで扱うデータやプログラムの破壊・紛失・盗難に備え、あらかじめ複製をとっておくことをいう。
115	タイムライン(防災行動計画)	防災関係機関が災害の発生を前提に、起こり得る状況を想定して、「いつ」「どのような防災行動を」「どの主体が行うか」を時系列に整理しまとめた防災計画のことをいう。
115,125	ハザードマップ	ある特定の災害に対して将来予想される災害の種類、規模、範囲などの危険地域を想定し、避難場所や避難路の確保など災害の軽減のための諸対策を記入した地図のことをいう。
116,117	自助・共助・公助	「自助」は災害時に自分自身の命を自分で守ること、「共助」は地域で災害発生時に力をあわせること、「公助」は公的機関が災害の問題を解決することをいう。
116	マンホールトイレ	下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保するものである。
116,117,120	緊急輸送道路	地震直後から発生する緊急輸送を円滑に行うため、高速自動車国道、一般国道及びこれらを連絡する幹線道路と知事等が指定する防災拠点を相互に連絡する道路をいう。
117,123	災害時医療チーム(DMAT)	災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チームのことをいう。Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって「DMAT(ディーマツト)」と呼ばれる。
118,119,123	コミュニティFM	通常のFMより出力の小さい、市町村単位の小規模なFMラジオ放送のことをいう。
118	非常参集	非常時に職員が集まることをいう。
118	電源付加装置	災害などで停電しても非常用電源で信号機などを点灯させる発電機のことをいう。
119	地域防災計画	災害対策基本法に基づき、都道府県や市区町村の長が、それぞれの防災会議に諮り、防災のために処理すべき業務などを具体的に定めた計画のことをいう。
121	再生可能エネルギー	太陽光や風力、地熱といった自然界に常に存在するエネルギーのことをいう。
121	蓄電設備	蓄電とは電気をためることを意味し、それらに関わる設備のことをいう。
121	コージェネレーション	電気と熱を同時に発生させる熱電併給システムの総称で、エネルギー効率の向上を目的とした、熱源から電力と共に熱を取り出すエネルギー供給システムのことをいう。
125	応急給水	施設の破損・故障などから水道による給水が不可能となった場合に、給水車等の運搬具を用いて、水道使用者に水を供給することをいう。
125	コーディネーター	物事が円滑に行われるように、全体の調整や進行を担当する人のことをいう。

第1章 五霞町国土強靱化地域計画

1. 国土強靱化の概要

(1) 国土強靱化とは

我が国は、地理的・地形的・気象的な特性により、これまで数多くの災害が起こり、その度に甚大な被害を受け、時間をかけて復旧・復興することを繰り返してきました。

近年の東日本大震災から得た教訓を踏まえ、平時から大規模自然災害等に対する備えを行うことが重要であり、最悪の事態を念頭に置き、従来の狭い意味での「防災」の範囲を超えたまちづくり政策・産業政策も含めた総合的な対応を行っていく必要があります。

いかなる災害等が発生しようとも、人命の保護が最大限に図られ、国家及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けずに維持され、国民の財産及び公共施設に係る被害の最小化と迅速な復旧復興を基本とした、「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築に向けた「国土強靱化」を推進するものです。

(2) 五霞町国土強靱化地域計画の位置づけ

五霞町国土強靱化地域計画は、国土強靱化基本法*第13条に規定された地域計画で、地方公共団体における様々な分野の計画等の指針となるものであり、地域における国土強靱化に係る計画等の指針としての性格を有するものです。

策定に当たっては、「茨城県国土強靱化計画」を参考として調和を図りつつ本町の特性を踏まえた計画とします。また、この地域計画は第6次五霞町総合計画と一体的に策定するものです。

(3) 五霞町における国土強靱化の基本的な考え方

第6次五霞町総合計画基本構想における将来像「キラリ★五霞町 ～快適で居心地のよいまち～」を本町の強靱化を推進する上での将来像とし、国・茨城県の国土強靱化の推進における基本目標を踏まえ、次の4つの基本目標を位置づけ、快適で居心地のよいまちづくりを推進します。

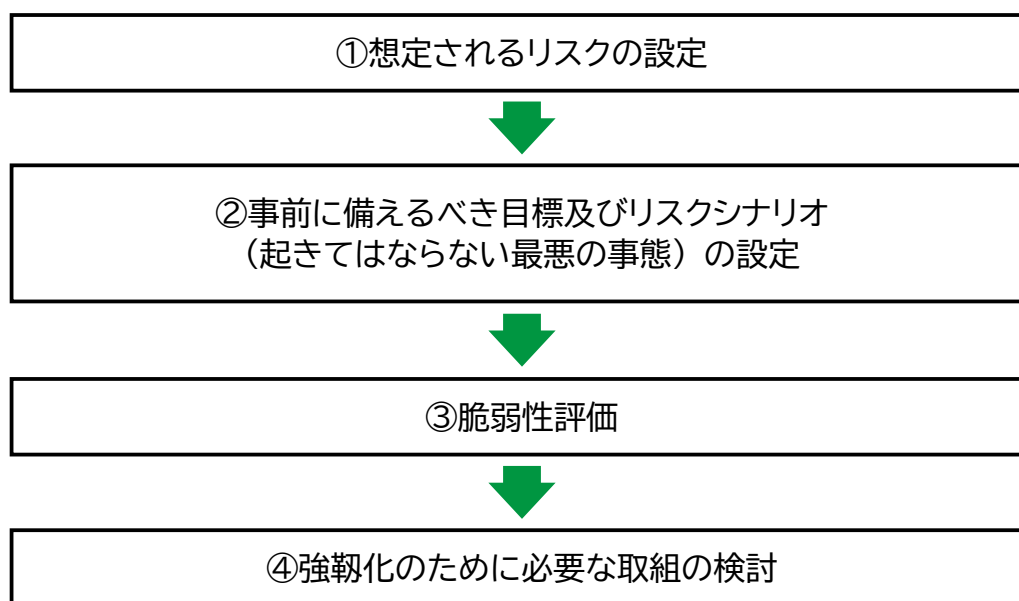
1. 人命の保護が最大限図られること
2. 町政及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けずに維持されること
3. 住民の財産及び公共施設に係る被害の最小化
4. 迅速な復旧復興

2. 脆弱性評価

(1) 脆弱性評価の考え方

本町における大規模自然災害等に対する脆弱性評価は、大規模自然災害等による甚大な被害を回避するために、現在の本町の施策のどこに脆弱性があるのかを明らかにするための評価です。

脆弱性評価は、国・県が実施した手法を参考として、以下の手順で行い、地域の強靱化のために取り組むべき施策を検討します。



(2) 想定されるリスク

茨城県国土強靱化計画(平成 29 年 2 月)では、茨城県に影響を及ぼすリスクとして「大規模自然災害」を対象とすると示されているため、本町においても地震、台風・竜巻・豪雨などの風水害等の自然災害全般を想定されるリスクとして設定します。また、これら自然災害は単独発生だけでなく、同時あるいは連続して災害が発生することで、より甚大な被害をもたらす可能性があることにも留意する必要があります。

(3) 事前に備えるべき目標及びリスクシナリオの設定

国の基本計画においては、8つの「事前に備えるべき目標」とその目標の妨げとなる45の「リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）」を設定し評価していますが、茨城県においては国を参考に地域特性に合わせて、8つの「事前に備えるべき目標」と39の「リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）」を設定しています。

本町においては、県の設定を参考に本町の実情や地域特性を踏まえ、8つの「事前に備えるべき目標」と42の「リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）」を設定しました。

事前に備えるべき目標	リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）	
1 大規模自然災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られる	1-1	建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生
	1-2	不特定多数が集まる施設の倒壊・火災
	1-3	広域にわたる大規模洪水等による多数の死者の発生
	1-4	異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水
	1-5	大規模な土砂災害・風水害等による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり国土の脆弱性が高まる事態
	1-6	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生
2 大規模自然災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われる（それがなされない場合の必要な対応を含む）	2-1	被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止
	2-2	多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生
	2-3	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足
	2-4	救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶
	2-5	想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者*への水・食料等の供給不足
	2-6	医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶による医療機能の麻痺
	2-7	被災地における疫病・感染症等の大規模発生
	2-8	劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生
3 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な行政機能は確保する	3-1	被災による現地の警察機能の大幅な低下による治安の悪化
	3-2	信号機の全面停止等による重大交通事故の多発
	3-3	行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下
4 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な情報通信機能は確保する	4-1	電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止
	4-2	テレビ・ラジオ放送の中断等により災害情報が必要な者に伝達できない事態
5 大規模自然災害発生後であっても、経済活動を機能不全に陥らせない	5-1	サプライチェーン*の寸断等による町内企業の生産力低下
	5-2	社会経済活動、サプライチェーン*の維持に必要なエネルギー供給の停止
	5-3	重要な産業施設の損壊、火災、爆発等
	5-4	食料等の安定供給の停滞
6 大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に必要最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク*等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る	6-1	住民の生活・経済活動の維持に必要な電力や石油等の供給の停止
	6-2	上水道等の長期間にわたる供給停止
	6-3	污水处理施設等の長期間にわたる機能停止
	6-4	地域交通ネットワーク*が分断する事態
	6-5	異常湧水等により用水の供給の途絶
	6-6	防災インフラの長期間にわたる機能不全
7 制御不能な二次災害を発生させない	7-1	市街地での大規模火災の発生
	7-2	沿線・沿道の建物倒壊による直接的な被害及び交通麻痺
	7-3	ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生
	7-4	有害物質の大規模拡散・流出
	7-5	農地・森林等の荒廃による被害の拡大
	7-6	風評被害*等による地域経済等への甚大な影響
8 大規模自然災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する	8-1	大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	8-2	復旧・復興を担う人材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	8-3	地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	8-4	基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	8-5	広域・長期にわたる浸水被害の発生により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	8-6	貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・損失
	8-7	事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず復興が大幅に遅れる事態

(4) 脆弱性評価の結果と取組対策

備えるべき目標	1 大規模自然災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られる
---------	---------------------------------

リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）
1-1 建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生
1-2 不特定多数が集まる施設の倒壊・火災
1-3 広域にわたる大規模洪水等による多数の死者の発生
1-4 異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水
1-5 大規模な土砂災害・風水害等による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり国土の脆弱性が高まる事態
1-6 情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生

脆弱性評価の結果

脆弱性課題	脆弱性評価の結果	リスクシナリオ
●体制やシステムに関する基本課題		
基本課題 A	可能な限りの迅速で確実な救急救命活動が行える体制づくりが必要である。	1-1, 1-2, 1-3, 1-6
基本課題 B	迅速な措置や復旧の対応のための体制を構築しておく必要がある。	1-1, 1-2, 1-3, 1-5
基本課題 C	本町の体制の絶対的不足を補完するための広域的で多様な連携体制を明確化し、各機関等の支援・応援の受入れ体制を整備する必要がある。	1-1, 1-2, 1-3, 1-5
基本課題 D	住民、自主防災組織*等による救出・救護活動等を行う仕組みを検討する必要がある。	1-1
●施設や建物などモノに関する基本課題		
基本課題 E	建物の不燃化・難燃化の取組を推進する必要がある。	1-1
基本課題 F	下水道施設の機能を維持していく必要がある。	1-4
●情報の収集・伝達、設備やシステムの維持管理などソフト面に関する基本課題		
基本課題 G	平常時から情報通信ネットワーク*設備及び情報システムの管理・点検を行い、継続的に維持・稼働させる必要がある。	1-6
●備えるべき目標に関する個別課題		
個別課題①	災害対応機関等の予防能力や災害対応能力の向上を図り、災害対応業務の実効性を高めていく必要がある。	1-2
個別課題②	客観的な指標に基づく避難勧告等の発令基準を定め、逃げ遅れ者を最少にする必要がある。	1-4, 1-6
個別課題③	甚大な被害により対応が困難となった場合に被害を軽減する方策を検討する必要がある。	1-5
個別課題④	避難行動要支援者*や要配慮者*に対しての情報伝達・避難誘導等を定める必要がある。	1-6
個別課題⑤	防災拠点となる防災空間や避難地を確保する必要がある。	1-1, 1-2
個別課題⑥	不特定多数が集まる施設の安全確保のための点検・整備と適正管理が必要である。	1-2
個別課題⑦	住民に対して避難方法や災害情報の伝達方法などを広報する必要がある。	1-3
個別課題⑧	緊急事態へ対応可能な自助の準備の推進が必要である。	1-4





脆弱性への取組対策

脆弱性課題	取組対策	基本計画 参照ページ
基本課題 A	・救急体制の充実、強化、及び、広域的な連携体制を構築する。	P67(1)-①
基本課題 B	・災害時に迅速な応急措置や誘導員の配置ができるような応急体制を構築する。 ・迅速な道路復旧に向けた関係機関や対応業者との協力体制の明確化を図る。	P60(2)-① P67(1)-②
基本課題 C	・近隣市町やその他関係機関と連携が図れるよう協力体制を整備する。 ・遠方の市町村等との広域連携体制を整備する。 ・応援協定*の活用、各機関等への応援要請と受入れ体制を整備する。	P67(1) -②, ③ P104(1)-③
基本課題 D	・一定の安全を確保した上で、住民、自主防災組織*等による救出・救護活動等を行う仕組みを検討する。	P67(1) -②, ③
基本課題 E	・木造住宅の防火対策や住宅への不燃化対策、市街地での延焼防止などの火災予防、被害軽減のための取組を図る。	P59(1)-③ P67(1)-①
基本課題 F	・下水道施設・雨水排水施設の機能を継続的に維持していく。 ・下水道施設・雨水排水施設の耐震化を着実に進める。 ・下水道事業継続計画（BCP）*を継続的に見直し、内容の充実を図る。	P64(2) -②, ③
基本課題 G	・情報通信ネットワーク*設備及び、情報の周知システムの整備と継続的な管理・点検を行う。 ・情報システムの耐災性の向上とバックアップ*強化を図る。 ・非常用電源の確保と継続性の確保を図る。	P67(1)-② P92(2)-②
個別課題①	・消防活動、救助活動、医療活動における災害対応力強化のための体制、装備資器材等の充実強化を図る。 ・消防団の体制・装備・訓練の充実強化を図る。 ・自主防災組織*の充実強化を図る。 ・地域の特性や様々な災害現場に対応した訓練環境を整備し、明確な目標の下に合同訓練等を実施する。	P67(1) -①, ③
個別課題②	・タイムライン（防災行動計画）*を作成する。 ・住民の災害に対する理解を深め、災害対応力を高め逃げ遅れを減らす。 ・ライフラインの確保対策など総合的な防災対策を進める。	P67(1) -②, ③
個別課題③	・災害協定等により一時避難場所として広域避難の受入れ先の確保を図る。 ・災害予防体制の確立を図る。	P67(1)-② P104(1)-③
個別課題④	・高齢者や障害者など避難行動要支援者*名簿の作成や名簿を活用した情報伝達・避難誘導等を定める個別避難計画を策定する。 ・避難行動要配慮者*等の安全への支援をするため、各種ボランティアの協力による情報発信等を行う。	P82(2)-② P83(3)-① P91(1)-② P106(3)-①
個別課題⑤	・指定避難場所の更なる確保や防災拠点の確保、広域での避難場所の確保を行う。	P67(1)-②
個別課題⑥	・指定避難所である公共施設の安全確保のための修繕や建替えを行う。 ・防災拠点となる公共施設の耐震化・耐火性の向上を図る。 ・庁舎の老朽化対策を行う。	P77(2)-② P77(3)-② P108(2)-①
個別課題⑦	・避難行動の啓発や実践的な避難訓練を行う。 ・避難方法（避難経路・避難場所）及び情報の伝達方法などを広報する。 ・水害・地震等の防災ハザードマップ*、まちまるごとハザードマップ*により周知を図る。	P67(1)-②
個別課題⑧	・住民への備蓄品や浸水に対する災害対策の啓発と緊急事態へ対応可能な自助の準備を促進する。	P67(1) -②, ③

備えるべき目標	2 大規模自然災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われる（それがなされない場合の必要な対応を含む）
リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）	
2-1 被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止	
2-2 多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生	
2-3 自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足	
2-4 救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶	
2-5 想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者*への水・食料等の供給不足	
2-6 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶による医療機能の麻痺	
2-7 被災地における疫病・感染症等の大規模発生	
2-8 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生	

脆弱性評価の結果

脆弱性課題	脆弱性評価の結果	リスクシナリオ
●体制やシステムに関する基本課題		
基本課題 C	本町の体制の絶対的不足を補完するための広域的で多様な連携体制を明確化し、各機関等の支援・応援の受入れ体制を整備する必要がある。	2-3
基本課題 D	住民、自主防災組織*等による救出・救護活動等を行う仕組みを検討する必要がある。	2-2
●情報の収集・伝達、設備やシステムの維持管理などソフト面に関する基本課題		
基本課題 G	平常時から情報通信ネットワーク*設備及び情報システムの管理・点検を行い、継続的に維持・稼働させる必要がある。	2-2
●備えるべき目標に関する個別課題		
個別課題①	一時滞在施設や指定避難所における帰宅困難者*・避難者等の受入れ体制の確保を図る必要がある。	2-5, 2-8
個別課題②	緊急事態へ対応可能な自助・共助・公助*の準備の推進が必要である。	2-1, 2-2 2-4, 2-5
個別課題③	必要物資等の備蓄量の確保や物資調達・供給体制を構築するとともに、救援物資の受入れや仕分け、配送などについて、災害対策本部と各施設担当者の具体的なアクションプランを策定する必要がある。	2-1, 2-5
個別課題④	水の長期的な安定供給体制と資機材（給水車、給水タンク、給水栓、ポリタンクなど）の充実が必要である。	2-1, 2-5
個別課題⑤	仮設トイレやマンホールトイレ*などの資機材の整備やバキュームカーなどの移送手段の調達、汚水の受入れ施設の応援（確保）が必要である。	2-1, 2-5 2-7
個別課題⑥	災害対応機関等の予防能力や災害対応能力の向上を図り、災害対応業務の実効性を高めていく必要がある。	2-3
個別課題⑦	医療機関及び福祉施設における燃料タンクや自家発電装置の設置等を促進する必要がある。	2-4
個別課題⑧	輸送基盤施設や緊急輸送道路*の耐震化や災害対策を進める必要がある。	2-1, 2-2
個別課題⑨	避難路や代替輸送路の確保や輸送等に必要な装備資器材の整備を進める必要がある。	2-2
個別課題⑩	救助・救急活動を行う緊急車両等（災害応急対策車両）や病院等の重要施設に中核給油所等から優先給油がスムーズに行われるよう訓練を行う必要がある。	2-4
個別課題⑪	地域の医療機関の活用を含めた適切な医療機能の提供のあり方について検討する必要がある。	2-6, 2-8
個別課題⑫	平時から予防接種を促進するとともに、災害時の感染症対策や健康管理について、職員や住民に対して日頃から周知しておく必要がある。	2-7, 2-8





脆弱性への取組対策

脆弱性課題	取組対策	基本計画 参照ページ
基本課題 C	- 近隣市町やその他関係機関と連携が図れるよう協力体制を整備する。 - 遠方の市町村等との広域連携体制を整備する。 - 応援協定*の活用，各機関等への応援要請と受入れ体制を整備する。	P67(1) - ①, ②, ③
基本課題 D	一定の安全を確保した上で，住民，自主防災組織*等による救出・救護活動等を行う仕組みを検討する。	P67(1) - ①, ②, ③
基本課題 G	- 情報通信ネットワーク*設備及び，情報の周知システムの整備と継続的な管理・点検を行う。 - 情報システムの耐災性の向上とバックアップ*強化を図る。 - 非常用電源の確保と継続性の確保を図る。	P67(1)- ② P92(2)- ②
個別課題①	- 災害発生の曜日，時間帯による帰宅困難者*の数の把握と受入れ体制の確保を図る。 - 避難所等における健康管理体制の整備を図る。	P63(2)- ① P67(1)- ② P77(2)- ② P84(4)- ②
個別課題②	住民への備蓄や地震や浸水に対する災害対策の啓発と緊急事態へ対応可能な自助・共助・公助*の準備を促進する。	P67(1) - ②, ③
個別課題③	- 各家庭や避難所における食料・燃料等の備蓄量の確保を促進する。 - 国や県，民間事業者等の協力・連携のもと，物資調達・供給体制を構築する。 - 避難者の長期受入れに対応できるよう食料・資材等の確保を進める。 - 支援物資の要請や受入れ，仕分けなど具体的な方法や役割を確認する。	P67(1) - ②, ③ P77(2)- ②
個別課題④	- 水道施設の耐震化や老朽化対策を計画的に進める。 - 給水車，給水タンク，給水栓，ポリタンク，ペットボトルや給水袋などの充実を図る。	P63(2)- ①
個別課題⑤	- 下水道事業継続計画（BCP）*を継続的に見直し，内容の充実を図りながら民間事業者との資材調達協定などを結べるよう協力体制を構築する。 - 下水道施設の耐震化を着実に進める。	P64(2)- ②
個別課題⑥	- 消防における災害対応力強化のための体制，装備資器材等の充実強化を図る。 - 消防団の体制・装備・訓練の充実強化を図る。 - 自主防災組織*の充実強化を図る。 - 地域の特性や様々な災害現場に対応した訓練環境を整備し，明確な目標の下に合同訓練等を実施する。 - ライフラインの確保等の総合的な防災対策の強化を進める。	P67(1) - ①, ②, ③
個別課題⑦	地域で自立できるエネルギーインフラの構築を図るとともに，複数のエネルギー源の調達ルートの確保を図る。	P67(1)- ②
個別課題⑧	緊急輸送道路*のバイパス路線にもなる緊急輸送道路*につながる幹線道路の強化を図る。	P60(2)- ① P67(1)- ②
個別課題⑨	多様な主体が管理する道路を把握し，災害時に避難路や代替輸送路として確保，活用する。	P60(2)- ① P67(1)- ②
個別課題⑩	住民に対して緊急給油事業に係る理解を得るための普及啓発を図る。	P67(1)- ②
個別課題⑪	- 国・県などへ災害派遣医療チーム*の派遣要請を行う。 - 災害時の地域医療体制の確保を図る。	P67(1)- ② P84(4)- ③
個別課題⑫	- 感染症予防のための予防接種の促進を図る。 - 避難所生活における健康管理についての啓発（特に妊婦・乳幼児・高齢者）を図る。 - 平時からの手洗い・うがいなどの促進を図る。 - 感染症の正しい知識の普及，感染症の発生・蔓延の防止に努める。	P75(1)- ① P77(3)- ① P81(1)- ② P83,84(4) - ①, ②, ③

備えるべき目標	3 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な行政機能は確保する
リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）	
3-1 被災による現地の警察機能の大幅な低下による治安の悪化	
3-2 信号機の全面停止等による重大交通事故の多発	
3-3 行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下	

脆弱性評価の結果

脆弱性課題	脆弱性評価の結果	リスクシナリオ
●体制やシステムに関する基本課題		
基本課題 C	本町の体制の絶対的不足を補完するための広域的で多様な連携体制を明確化し、各機関等の支援・応援の受入れ体制を整備する必要がある。	3-3
●情報の収集・伝達、設備やシステムの維持管理などソフト面に関する基本課題		
基本課題 H	地域の実情や災害の種類に応じた多様な方法により災害情報を収集し確実に伝達する必要がある。	3-3
●備えるべき目標に関する個別課題		
個別課題①	災害時においても行政が機能できるよう万全を期する必要がある。	3-3
個別課題②	停電による信号機の停止が原因で発生する交通渋滞、交通事故を回避する必要がある。	3-1, 3-2
個別課題③	災害時を想定した事件・事故への自己防衛対策の推進が必要である。	3-1, 3-2
個別課題④	関係機関との連携、災害警備活動の強化を図っていく必要がある。	3-1
個別課題⑤	緊急事態へ対応可能な自助の準備の推進が必要である。	3-3



脆弱性への取組対策

脆弱性課題	取組対策	基本計画 参照ページ
基本課題 C	・近隣市町やその他関係機関と連携が図れるよう協力体制を整備する。 ・遠方の市町村等との広域連携体制を整備する。 ・応援協定*の活用、各機関等への応援要請と受入れ体制を整備する。	P67(1) - ②, ③ P104(1)- ③
基本課題 H	・防災行政無線や各種媒体（メール、コミュニティ FM*など）を活用した情報伝達、周知システムを強靱化して、住民が混乱しないように、被災状況を把握し適切な情報発信をする。	P67(1) - ②, ③
個別課題①	・上下水道については、経験者の応援体制で対応し、運転管理は包括的民間委託により業者委託しているため民間の力で対応する。 ・学校では、災害時においても適切な教育相談及び指導を行うことができる体制を整備する。 ・先導的に対応していくことのできる職員の育成を図る。 ・職員の非常参集*訓練等を継続的に実施する。	P63(2)- ① P64(2) - ②, ③ P77(2)- ② P105(2) - ①, ②
個別課題②	・電源付加装置*を有する信号機の整備促進を図る。	P68(2)- ①
個別課題③	・住民に災害時の自己防衛対策についての啓発を実施する。	P68(2) - ①, ③
個別課題④	・実践的な訓練を実施し、災害警備活動の強化を図る。	P68(2) - ①, ③
個別課題⑤	・住民に災害時の行動についての啓発を実施する。	P67(1)- ③

備えるべき目標	4 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な情報通信機能は確保する
---------	----------------------------------

リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）
4-1 電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止
4-2 テレビ・ラジオ放送の中断等により災害情報が必要な者に伝達できない事態

脆弱性評価の結果

脆弱性課題	脆弱性評価の結果	リスクシナリオ
●情報の収集・伝達，設備やシステムの維持管理などソフト面に関する基本課題		
基本課題 H	地域の実情や災害の種類に応じた多様な方法により災害情報を収集し確実に伝達する必要がある。	4-2
●備えるべき目標に関する個別課題		
個別課題①	公共施設や指定避難所の電力供給停止等の際の対策を講じる必要がある。	4-1
個別課題②	緊急事態へ対応可能な自助の準備の推進が必要である。	4-1
個別課題③	地域の防災対策を着実に推進する必要がある。	4-1
個別課題④	災害時においても行政が機能できるよう万全を期する必要がある。	4-1



脆弱性への取組対策

脆弱性課題	取組対策	基本計画 参照ページ
基本課題 H	・防災行政無線や各種媒体（メール，コミュニティ FM*など）を活用した情報伝達，周知システムを強靱化して，住民が混乱しないように，被災状況を把握し適切な情報発信をする。	P67(1)-② P77(3)-② P104(1)-③ P105(2)-② P106(3)-①
個別課題①	・公共施設の非常用自家発電の確保を図る。 ・指定避難所の安全性や設備等の点検・整備を図る。	P67(1)-②
個別課題②	・住民への防災意識の啓発促進を図る。	P67(1)-③
個別課題③	・地域防災リーダーを育成する。 ・自主防災組織*の向上を図る。	P67(1)-③
個別課題④	・町職員への地域防災計画*に準じた対応策の徹底を図る。	P67(1)-② P105(2)-②

備えるべき目標	5 大規模自然災害発生後であっても、経済活動（サプライチェーン*を含む）を機能不全に陥らせない
---------	---

リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）
5-1 サプライチェーン*の寸断等による町内企業の生産力低下
5-2 社会経済活動、サプライチェーン*の維持に必要なエネルギー供給の停止
5-3 重要な産業施設の損壊、火災、爆発等
5-4 食料等の安定供給の停滞

脆弱性評価の結果

脆弱性課題	脆弱性評価の結果	リスクシナリオ
●体制やシステムに関する基本課題		
基本課題 B	迅速な措置や復旧の対応のための体制を構築しておく必要がある。	5-2
●備えるべき目標に関する個別課題		
個別課題①	輸送基盤施設や緊急輸送道路*の耐震化や災害対策を進める必要がある。	5-1, 5-2
個別課題②	広域にわたる大規模自然災害の発生時を想定した食料等の供給・確保に関する取組を強化していく必要がある。	5-4
個別課題③	食料、飲料水、生活必需品を提供する事業者や医療機関との協定の締結を求める必要がある。	5-4
個別課題④	民間企業における主体的な事業継続計画（BCP）*の取組を推進する必要がある。	5-1
個別課題⑤	民間企業の地震災害予防対策を促進する必要がある。	5-1
個別課題⑥	被災後のエネルギー供給先の優先順位の考え方を事前に整理しておく必要がある。	5-2
個別課題⑦	民間事業所における災害予防対策の実施を促す必要がある。	5-3



脆弱性への取組対策

脆弱性課題	取組対策	基本計画 参照ページ
基本課題 B	・災害時に迅速な応急措置や誘導員の配置ができるような応急体制を構築する。 ・迅速な道路復旧に向けた関係機関や対応業者との協力体制の明確化を図る。	P60(2)-① P67(1)-②
個別課題①	・道路や緊急輸送道路*の耐震の強化、災害対策の着実な推進を図る。 ・輸送基盤の地震、水害対策等の着実な推進を図る。	P60(2)-① P67(1)-②
個別課題②	・複数の食料調達ルートを確認するとともに、広域からの調達ルートを事前に確保するための協定等を行う。	P67(1)-② P97(2)-②
個別課題③	・民間事業所と連携しながら、広域からの応援要請ルートを事前に確保するための協定等を行う。	P67(1)-② P97(2)-②
個別課題④	・民間企業への事業継続計画（BCP）*の普及啓発を図る。	P67(1)-② P97(2)-②
個別課題⑤	・民間企業の耐震性向上のための資金調達の円滑化を支援する。	P67(1)-② P97(2)-②
個別課題⑥	・複数のエネルギー調達ルートを確認するとともに、広域からの調達ルートを事前に確保するための協定等を行う。	P67(1)-②
個別課題⑦	・民間事業者における事業継続計画（BCP）*策定に向けた支援（合同勉強会開催やコンサルタントの紹介等）を行う。	P97(2)-②

備えるべき目標	6 大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に必要な最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク*等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る
---------	--

リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）
6-1 住民の生活・経済活動の維持に必要な電力や石油等の供給の停止
6-2 上下水道等の長期間にわたる供給停止
6-3 污水处理施設等の長期間にわたる機能停止
6-4 地域交通ネットワーク*が分断する事態
6-5 異常湧水等により用水の供給の途絶
6-6 防災インフラの長期間にわたる機能不全

脆弱性評価の結果

脆弱性課題	脆弱性評価の結果	リスクシナリオ
●体制やシステムに関する基本課題		
基本課題 C	本町の体制の絶対的不足を補完するための広域的で多様な連携体制を明確化し、各機関等の支援・応援の受入れ体制を整備する必要がある。	6-3, 6-6
●施設や建物などモノに関する基本課題		
基本課題 F	下水道施設の機能を維持していく必要がある。	6-3
●備えるべき目標に関する個別課題		
個別課題①	ライフライン関係機関と連携した災害対応力を強化するとともに、エネルギー供給源の安定化を図る必要がある。	6-1, 6-2 6-5, 6-6
個別課題②	資機材の確保と応急対策訓練を実践的・継続的に実施する必要がある。	6-3
個別課題③	取水ができないときのために埼玉県と協議する必要がある。	6-5, 6-6
個別課題④	自家発電設備や燃料備蓄の導入促進を図る必要がある。	6-1, 6-6
個別課題⑤	道路が寸断され孤立状態に陥っても数日間しのげる体制を構築する必要がある。	6-4



脆弱性への取組対策

脆弱性課題	取組対策	基本計画 参照ページ
基本課題 C	・近隣市町やその他関係機関と連携が図れるよう協力体制を整備する。 ・遠方の市町村等との広域連携体制を整備する。 ・応援協定*の活用、各機関等への応援要請と受入れ体制を整備する。	P67(1)-②
基本課題 F	・下水道施設・雨水排水施設の機能を継続的に維持していく。 ・下水道施設・雨水排水施設の耐震化を着実に進める。 ・下水道事業継続計画（BCP）*を継続的に見直し、内容の充実を図る。	P64(2) -②, ③
個別課題①	・発電施設、ガス導管網の耐震化、LP ガス充てん所における緊急時に備えた訓練を実施する。 ・再生可能エネルギー*や蓄電設備*（電気自動車等）、コージェネレーション*等の組み合わせによる自立・分散型エネルギーの導入によるエネルギー供給源の安定化を図る。 ・長期にわたるライフライン停止の場合は、事業体や県・国・自衛隊へ応援を要請する。	P63(2)-① P67(1)-②
個別課題②	・町内立地事業所と連携しながら、広域からの応援要請ルートを事前に確保するための協定等を行う。	P67(1)-②
個別課題③	・埼玉県水の受水地点の変更と導水管（受水管）の増径等を協議する。 ・埼玉県の事業体との水融通（連絡管）の協議を行う。	P63(2)-①
個別課題④	・家庭や公共施設、福祉施設等における自家発電設備や燃料備蓄の導入促進を図る。 ・取水施設への自家発電設備の整備を図る。	P63(2)-① P67(1)-② P77(2)-②
個別課題⑤	・各公共施設における救援を待つ間の数日間分の備蓄量の確保を図る。	P63(2)-① P67(1)-②

備えるべき目標	7 制御不能な二次災害を発生させない
リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）	
7-1 市街地での大規模火災の発生	
7-2 沿線・沿道の建物倒壊による直接的な被害及び交通麻痺	
7-3 ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生	
7-4 有害物質の大規模拡散・流出	
7-5 農地・森林等の荒廃による被害の拡大	
7-6 風評被害*等による地域経済等への甚大な影響	

脆弱性評価の結果

脆弱性課題	脆弱性評価の結果	リスクシナリオ
●体制やシステムに関する基本課題		
基本課題 A	可能な限りの迅速で確実な救急救命活動が行える体制づくりが必要である。	7-1
基本課題 B	迅速な措置や復旧の対応のための体制を構築しておく必要がある。	7-1, 7-2
基本課題 C	本町の体制の絶対的不足を補完するための広域的で多様な連携体制を明確化し、各機関等の支援・応援の受入れ体制を整備する必要がある。	7-1
●施設や建物などモノに関する基本課題		
基本課題 E	建物の不燃化・難燃化の取組を推進する必要がある。	7-1
●情報の収集・伝達、設備やシステムの維持管理などソフト面に関する基本課題		
基本課題 H	地域の実情や災害の種類に応じた多様な方法により災害情報を収集し確実に伝達する必要がある。	7-6
●備えるべき目標に関する個別課題		
個別課題①	災害対応機関等の予防能力や災害対応能力の向上を図り、災害対応業務の実効性を高めていく必要がある。	7-1
個別課題②	特定空家等の発生を予防する必要がある。	7-2
個別課題③	有害物質流出や浄水等が汚染された場合は給水停止や飲用制限などの措置が必要である。	7-4
個別課題④	農作物被害への救済対策、被害の軽減及び未然防止対策等について検討する必要がある。	7-5
個別課題⑤	水の長期的な安定供給体制と資機材（給水車、給水タンク、給水栓、ポリタンクなど）の充実が必要である。	7-3, 7-4
個別課題⑥	飲料水や農畜産物等の風評被害*を防ぐ必要がある。	7-6





脆弱性への取組対策

脆弱性課題	取組対策	基本計画 参照ページ
基本課題 A	・救急体制の充実、強化、及び、広域的な連携体制を構築する。	P67(1)- ①
基本課題 B	・災害時に迅速な応急措置や誘導員の配置ができるような応急体制を構築する。 ・迅速な道路復旧に向けた関係機関や対応業者との協力体制の明確化を図る。	P60(2)- ① P67(1)- ②
基本課題 C	・近隣市町やその他関係機関と連携が図れるよう協力体制を整備する。 ・遠方の市町村等との広域連携体制を整備する。 ・応援協定*の活用、各機関等への応援要請と受入れ体制を整備する。	P67(1) - ①, ②
基本課題 E	・木造住宅の防火対策や住宅への不燃化対策、市街地での延焼防止などの火災予防、被害軽減のための取組を図る。	P59(1)- ③ P67(1)- ①
基本課題 H	・防災行政無線や各種媒体（メール、コミュニティ FM*など）を活用した情報伝達、周知システムを強靱化して、住民が混乱しないように、被災状況を把握し適切な情報発信をする。	P67(1)- ②
個別課題①	・警察、消防等の体制、装備資機材や訓練環境等の更なる充実、強化、整備を図る。 ・消防団、自主防災組織*の充実強化を図る。 ・災害派遣医療チーム*（DMAT 等）等の要請を行う。 ・県、自衛隊、他関係機関への応援要請を行う。	P67(1) - ①, ②, ③ P68(2)- ③
個別課題②	・空き家等の適切な管理に関する情報を発信する。 ・適切な管理が行われていない空き家の所有者等に対し、必要な措置を講じる。	P64(3)- ②
個別課題③	・自動水質測定装置や遠隔監視装置の整備を図る。 ・有害物質流出の長期化や浄水等が汚染された場合は給水停止や飲用制限を行う。 ・生活用水や飲用井戸として既存井戸を活用するための調査と整備を行う。	P63(2)- ①
個別課題④	・農地・農業水利施設等の計画的な整備や自立的な防災・復旧活動の体制整備の推進を図る。 ・災害からの農作物被害を防ぐため、気象情報等の連絡体制を確立する。 ・農作物被害による損失に備えて、収入保険や農業共済加入を促進を図る。	P67(1)- ② P97(2)- ①
個別課題⑤	・地下水採取規制地域であるが新たな深井戸の許可について県との調整・協議を進める。 ・取水ができないときに企業との連絡管（導水管）の接続について検討する。 ・長期にわたり取水ができないときは水道事業体や県・国・自衛隊へ応援を要請する。	P63(2)- ①
個別課題⑥	・飲料水や農畜産物等の風評被害*を防ぐための放射線等の測定の実施を要請する。	P67(1)- ②



備えるべき目標	8 大規模自然災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する
---------	--

リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）	
8-1	大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態
8-2	復旧・復興を担う人材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態
8-3	地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態
8-4	基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態
8-5	広域・長期にわたる浸水被害の発生により復旧・復興が大幅に遅れる事態
8-6	貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・損失
8-7	事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず復興が大幅に遅れる事態

脆弱性評価の結果

脆弱性課題	脆弱性評価の結果	リスクシナリオ
●体制やシステムに関する基本課題		
基本課題 C	本町の体制の絶対的不足を補完するための広域的で多様な連携体制を明確化し、各機関等の支援・応援の受入れ体制を整備する必要がある。	8-1, 8-2 8-3
●施設や建物などモノに関する基本課題		
基本課題 F	下水道施設の機能を維持していく必要がある。	8-4, 8-5
●備えるべき目標に関する個別課題		
個別課題①	被災した事業者の自立復興や住民の雇用対策を進める必要がある。	8-2
個別課題②	避難行動要支援者*や要配慮者*に対しての情報伝達・避難誘導等を定める必要がある。	8-3
個別課題③	防災性を高めていくまちづくりを計画的に推進することが重要である。	8-4, 8-5
個別課題④	災害による文化財の延焼、倒壊等による喪失を防ぐ必要がある。	8-6
個別課題⑤	自主防災組織*の強化、地域における防災力の強化を図る必要がある。	8-3, 8-6
個別課題⑥	災害に便乗した詐欺や義援金詐欺などへの対策が必要である。	8-3
個別課題⑦	文化財の安全な保管状況の確保、建造物の倒壊防止に努めることが必要である。	8-6
個別課題⑧	事前に仮設住宅等の建設可能用地や応急借上げ住宅提供者を把握しておく必要がある。	8-7
個別課題⑨	仮設住宅の設計、管理等、入居関係事務に関する応援・派遣人員を確保する必要がある。	8-7





脆弱性への取組対策

脆弱性課題	取組対策	基本計画 参照ページ
基本課題 C	・近隣市町やその他関係機関と連携が図れるよう協力体制を整備する。 ・遠方の市町村等との広域連携体制を整備する。 ・応援協定*の活用，各機関等への応援要請と受入れ体制を整備する。	P67(1) - ②, ③ P104(1)- ③
基本課題 F	・下水道施設・雨水排水施設の機能を継続的に維持していく。 ・下水道施設・雨水排水施設の耐震化を着実に進める。 ・下水道事業継続計画（BCP）*を継続的に見直し，内容の充実を図る。	P64(2) - ②, ③
個別課題①	・事業者が自立復興を進めていくため，手続きの簡素化，迅速化に努める。 ・住民の雇用に関わる情報の提供を行う。	P95(1)- ③ P97(2) - ①, ②
個別課題②	・高齢者や障害者など避難行動要支援者*名簿の作成や名簿を活用した情報伝達・避難誘導等を定める個別避難計画を策定する。	P82(2)- ② P83(3)- ①
個別課題③	・基幹インフラ等の防災機能の強化を促進する。 ・水害ハザードマップ*，地震ハザードマップ*の作成と公表を行う。 ・浸水被害の地域で水道施設が破損した場合は，速やかに応急給水*により対応する。 ・本町全体の地盤高や排水勾配，排水流量を再調査した雨水排水計画を策定し，整備を進める。 ・農業用排水施設に湛水被害が生じる恐れのある地域の排水路等の改修を行う。	P63(2)- ① P64(2) - ②, ③ P67(1)- ②
個別課題④	・建物の耐震化・不燃化・難燃化，道路の拡幅，緑地整備等，本町全体の防災力の向上に向けた整備を推進する。	P67(1)- ②
個別課題⑤	・住民に対し防災訓練等への参加の呼びかけを行う。 ・防災訓練やリーダーの育成等を行い，自主防災組織*の強化を図る。 ・ボランティアリーダーやコーディネーター*の育成充実を図る。	P67(1)- ③ P95(1)- ①
個別課題⑥	・災害に便乗した犯罪に対する防犯対策として啓発活動に取り組む。	P68(2) - ③, ④
個別課題⑦	・文化財の所有者・管理者に対し，消火施設等に関する指導，建造物の倒壊防止，美術工芸品の転倒や転落防止対策について指導を行う。 ・未指定の文化遺産の調査・把握に努め，災害時の消火活動，搬出・保全活動に反映するとともに，災害後の文化遺産の喪失を避ける。	P67(1)- ② P78(3)- ④
個別課題⑧	・平時から，公有地及びその他の土地を含めた仮設住宅等を建設可能な土地を選定し，リストを作成しておく。 ・応急借上げ住宅を提供してくれる所有者や空き家の所有者を把握しておく。	P59(1)- ① P64(3)- ② P67(1)- ②
個別課題⑨	・応援協定*の活用，関係機関等との連携体制を構築しておく。	P67(1)- ② P104(1)- ③



3. 第Ⅰ期基本計画の各施策における強靱化に向けた取組

国土強靱化地域計画 リスクシナリオ 起きてはならない最悪の事態		第6次五霞町総合計画 第Ⅰ期基本計画																				
		1-1 建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や住宅密集地における火災による死者の発生	1-2 不特定多数が集まる施設の倒壊・火災	1-3 広域にわたる大規模洪水等による多数の死者の発生	1-4 異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水	1-5 大規模な土砂災害・風水害等による多数の死者の発生のみならず、後年度にわたり国土の脆弱性が高まる事態	1-6 情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死者の発生	2-1 被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止	2-2 多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生	2-3 自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足	2-4 ギ―供給の長期途絶	2-5 救助・救急、医療活動のためのエネルギーへの水・食料等の供給不足	2-6 想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者への水・食料等の供給不足	2-7 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災支援ルートの途絶による医療機能の麻痺	2-8 被災地における疫病・感染症等の大規模発生	2-9 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生	3-1 被災による現地の警察機能の大幅な低下による治安の悪化	3-2 信号機の全面停止等による重大交通事故の多発	3-3 行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下	4-1 電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止	4-2 テレビ・ラジオ放送の中断等により災害情報が必要な者に伝達できない事態	
第Ⅰ章 まちのカタチ・機能・環境デザイン	1 まちの土台をつくる	(1) 都市と自然が調和した土地利用の推進	①五霞らしさを生かしたバランスのある土地利用 ②にぎわいとうるおいのある拠点の整備 ③良好な住環境の形成	★																		
	2 まちの機能を高める	(2) 町内外との交流を促進する交通体系づくり	①住む・働く・訪れるが行き交う道路体系の整備 ②暮らしやすさに配慮した公共交通体系の整備	★	★	★		★		★	★											
		(1) 環境に配慮したまちづくりの推進	①時代に対応した環境対策の推進 ②環境に配慮した廃棄物の適正な処理 ③安全でおいしい水の安定的な供給							★	★											
	第Ⅱ章 まちのカタチ・機能・環境デザイン	3 まちの環境を良くする	(2) 上下水道の適正な維持・管理	①下水道施設の適正な維持管理 ②農業集落排水施設の適正な維持管理 ③道路・公園・水路等の適正な維持・管理				★		★	★			★		★				★	★	
(3) 安心して暮らせる基盤の充実			①消防機能の適正な維持・管理 ②防災・危機管理体制の整備 ③地域防災力の向上	★	★	★	★	★	★			★	★	★								
第Ⅲ章 まちのカタチ・機能・環境デザイン		4 まちの環境を良くする	(2) 住みよい住環境づくり	①交通安全対策の推進 ②安全・安心で衛生的な生活環境の確保 ③犯罪を許さないまちづくり ④暮らしやすい良好な生活環境づくり	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★			★	★	★		★	★
			(1) 時代に 対応した 学校教育の 推進	①確かな学力・健やかな体・豊かな心の育成 ②新しい時代に活躍する人材の育成 ③社会的自立を促す体験学習の推進												★	★					
	第Ⅳ章 まちのカタチ・機能・環境デザイン	5 まちの環境を良くする	(2) 学校教育推進のための基盤づくり	①持続可能な教育体制の確立 ②安全・安心な教育環境の確保 ③多様なニーズに対応した教育の支援		★					★		★		★				★			
			(3) 生涯学習の充実と豊かな歴史文化の継承	①家庭・地域の教育力の向上 ②生涯学習の充実 ③文化・芸術・スポーツ活動の充実 ④文化財の保護・活用		★										★	★			★		
第Ⅴ章 まちのカタチ・機能・環境デザイン		6 まちの環境を良くする	(1) 子育て世代のくらしの充実	①結婚・出産・子育てスタートの支援 ②母子の健康への支援 ③子育て家庭の応援											★	★						
			(2) 高齢者のくらしの充実	①高齢者を支える制度の維持充実 ②生きがいづくりの推進と生活支援の充実 ③介護保険の充実						★												
	(3) 障害者の豊かなくらしの支援		①支援体制の充実 ②自立した生活のための支援の充実						★													
	(4) 住民の健康なくらし		①健康づくりの推進 ②疾病予防の充実 ③医療体制の充実										★		★	★	★					

[illegible]

国土強靱化地域計画 リスクシナリオ 起きてはならない最悪の事態		第6次五雲町総合計画 第Ⅰ期基本計画																		
		1-1 建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生	1-2 不特定多数が集まる施設の倒壊・火災	1-3 広域にわたる大規模洪水等による多数の死者の発生	1-4 異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水	1-5 大規模な砂災害・風水害等による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり国土の脆弱性が高まる事態	1-6 情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生	2-1 被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止	2-2 多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生	2-3 自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足	2-4 救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶	2-5 想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者への水・食料等の供給不足	2-6 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶による医療機能の麻痺	2-7 被災地における疫病・感染症等の大規模発生	2-8 多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生	3-1 被災による現地の警察機能の大幅な低下による治安の悪化	3-2 信号機の全面停止等による重大交通事故の多発	3-3 行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下	4-1 電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止	4-2 テレビ・ラジオ放送の中断等により災害情報が必要な者に伝達できない事態
第3章 まちのしくみ・暮らし・環境・文化・産業・観光	1 まちのわ（輪・和）	(1)誰もが暮らしやすいまちづくりの推進 (2)住民同士・行政と住民との協力関係の充実	①人権・男女共同参画意識の高揚 ②暮らしやすさを守る仕組みの充実	①地域コミュニティ活動や地域の交流の場の充実 ②住民とともに進めるまちづくり		★														
	2 まちの活力	(1)地域の内外で連携するまちづくり (2)まちの農工商活性化	①地域福祉を進める体制の充実 ②地域福祉を支援する制度や仕組みの充実 ③仕事の機会充実への支援 ④地域間交流の推進	①地域福祉を進める体制の充実 ②地域福祉を支援する制度や仕組みの充実 ③仕事の機会充実への支援 ④地域間交流の推進				★										★		★
第4章 まちのしくみ・暮らし・環境・文化・産業・観光	1 行政運営	(1)社会の変化に対応した行政運営 (2)効果的な行政運営を行う人材育成 (3)満足度の高い行政サービスの最適化と利便性向上	①総合計画の進捗管理 ②リスクマネジメントへの対応 ③広域・民間との連携の推進 ④開かれた行政運営	①総合計画の進行管理 ②リスクマネジメントへの対応 ③広域・民間との連携の推進 ④開かれた行政運営	★	★	★		★									★		★
	2 財政運営	(1)健全な財政運営 (2)公共施設等の計画的な管理と統合・廃止	①人事管理の適正化 ②行政組織の適正化 ①行政手続の最適化と効率化 ②行政情報化の推進	①人事管理の適正化 ②行政組織の適正化 ①行政手続の最適化と効率化 ②行政情報化の推進														★	★	★

5-1 サプライチェーンの寸断等による町内企業の生産力低下	5-3 社会経済活動、サプライチェーンの維持に必要なエネルギー供給の停止	5-3 重要な産業施設の損壊、火災、爆発等	5-4 食料等の安定供給の停滞	6-1 住民の生活・経済活動の維持に必要な電力や石油等の供給の停止	6-2 上水道等の長期間にわたる供給停止	6-3 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止	6-4 地域交通ネットワークが分断する事態	6-5 異常渇水等により用水の供給の途絶	6-6 防災インフラの長期間にわたる機能不全	7-1 市街地での大規模火災の発生	7-2 沿線・沿道の建物倒壊による直接的な被害及び交通麻痺	7-3 ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生	7-4 有害物質の大規模拡散・流出	7-5 農地・森林等の荒廃による被害の拡大	7-6 風評被害等による地域経済等への甚大な影響	8-1 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態	8-2 復旧・復興が大幅に遅れる事態	8-3 地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態	8-4 暴幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態	8-5 広域・長期にわたる浸水被害の発生により復旧・復興が大幅に遅れる事態	8-6 貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊による多岐・無形の文化の衰退・損失	8-7 事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず復興が大幅に遅れる事態
															★			★			★	
																★						
																★						
														★		★						
★		★	★											★		★						
						★				★	★					★	★	★				★
															★							
															★							

